

ぶどう特報No.8



No.8 2019.7.1
JA中野市営農センター
JA中野市ぶどう部会

連続した降雨により、べと病や晩腐病、黒とう病の発生が心配されます。定期的な防除に努めてください。
また、今後連続した降雨が予想される場合は前倒しで防除をしてください。

- ・袋かけ時・傘かけ【日当たりの強いところは必ず袋かけと傘かけを並行して実施する。雨天時は実施しない】
- ・こまめな新梢管理【枝の繁茂は病気を助長し、粒への養分転流を妨げるので、細かに実施する】

【特別散布】袋かけ未実施園【べと病、黒とう病、晩腐病、スリップス類等】

散布時期	前回から10日（落花30日後）	南部：7/13～ 北部：7/15～（巨峰）	
散布品種	全品種（袋かけ未実施園 又は 冷蔵シャインマスカット袋かけ直前防除）		
散布薬剤	水	100 ℓ	散布日 月 日
	ライメイフロアブル（14日前、3回）	25 ml	
	オンリーワンフロアブル（前日、3回）	50 ml	
	アーデントフロアブル（前日、4回）	50 ml	
散布量	400ℓ／10a		
注意点	<p>※冷蔵シャインマスカット園地は、灰色カビ予防のため袋かけ前にこの防除を実施する。</p> <p>※袋かけ実施園地は、袋かけ直後の防除に切り替えても良い。</p> <p>① 散布の際は薬剤が房にかかると果粉溶脱するので留意する。</p> <p>② ハダニ類発生園は袋かけ直後のダニコングフロアブル（前日、1回）の散布を前倒しでこの防除に加用する。（使用回数1回を厳守する。）</p>		

第11回【ぶどう定期防除】（べと病、スリップス類・ダニ類防除）

散布時期	前回から10日以内（袋かけ直後）	南部・北部：袋かけ終了後	
散布品種	全品種（袋かけ実施園は前回から10日後の防除としてこの防除を実施する）		
散布薬剤	水	100 ℓ	散布日 月 日
	ムッシュボルドーDF	— 200 g	
	アルバリン顆粒水溶剤（前日、3回）	50 g	
	ダニコングフロアブル（シャインのみ）（前日、1回）	50 ml	
	KKステッカー（展着剤）	— 33 ml	
散布量	400ℓ／10a		
注意点	<p>※ KKステッカーは農薬を希釈した最後に加用する。加用の際はよく攪拌しながら加用する。</p> <p>① べと病発生園は、ムッシュボルドーに代えてゾーベックエニケード5,000倍（14日前、2回）を散布する。但し、本年1度でも散布している場合は使用しない。</p> <p>② KKステッカーに代えてアビオン-E1,000倍を使用しても良い。（混用順は1番最初）</p> <p>③ クビアカスカシバ発生園はパダンSG水溶剤1,500倍（21日前、5回）を加用散布する。</p> <p>④ ムッシュボルドーは高温、散布後の降雨で薬害が発生するので注意する。（クワノは不要）</p>		

袋かけについて【晴れ間を見計らい、2回目のジベ処理終了後（有核は摘粒後）速やかに実施する】

- ・房が濡れている時は実施しない ・日当たりの良いところは並行して傘かけも実施する
- ・種なしぶどうは晩腐病伝染予防のため早めの袋かけを心がける（日焼けに注意）
- ・シャインマスカットの果実袋は緑色（遅出し用）または白（早出し用）を使用する
- ・袋かけ前後は防除間隔が開かないように注意する。（基本は10日間隔で防除を行う）

ご不明な点はぶどう担当までご連絡下さい。